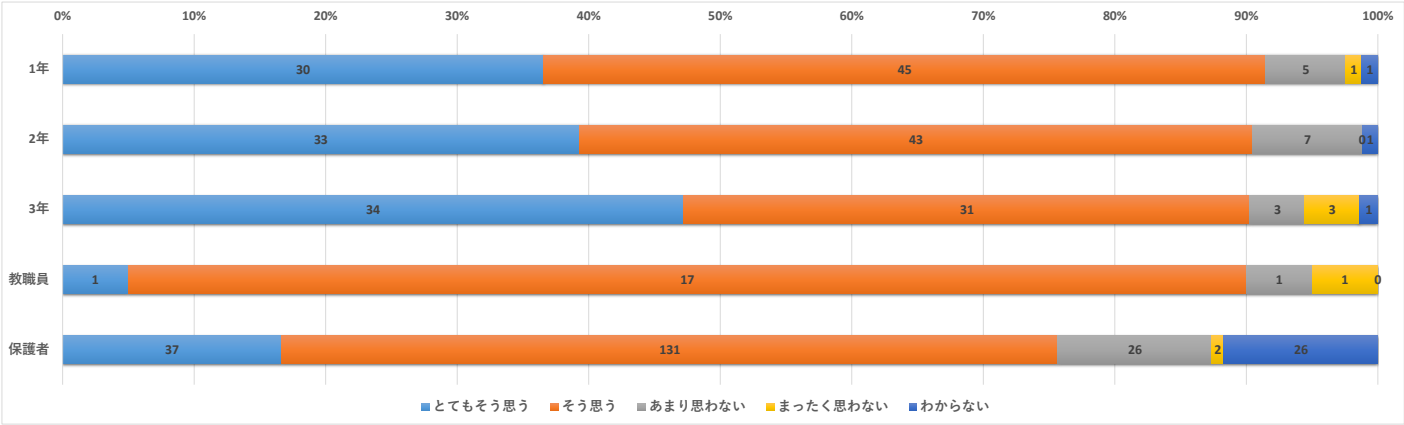
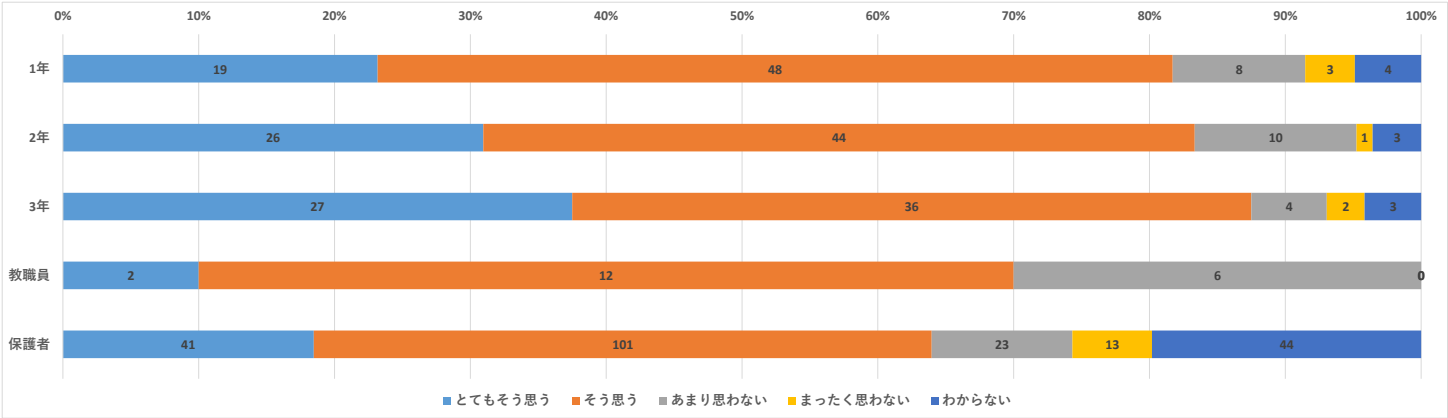
令和6年度　学校評価アンケート結果

※ アンケート項目の文章は、生徒用のものを載せてあります。

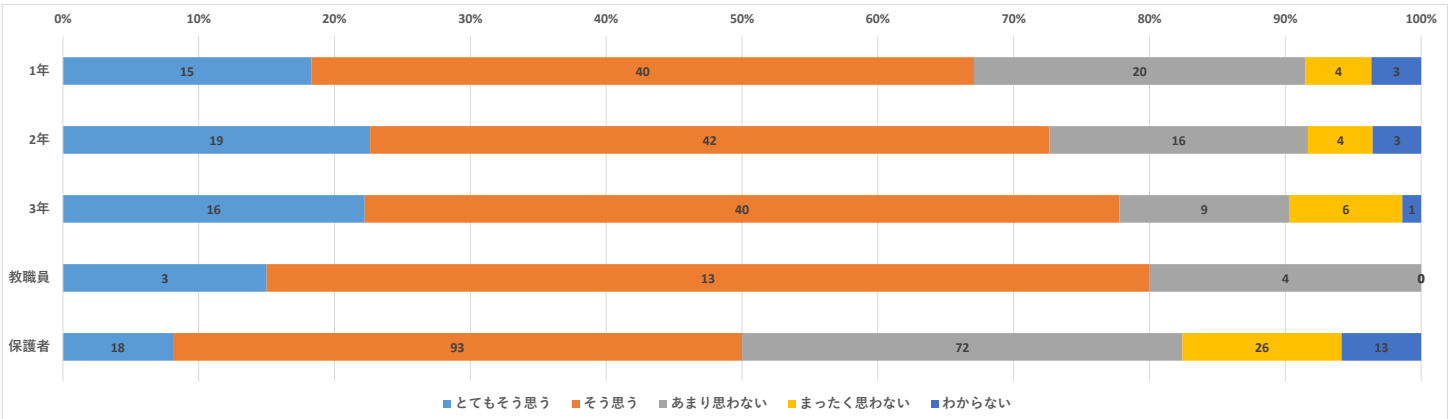
① 先生たちは分かりやすい授業を行い、分からない時丁寧に教えてくれる。



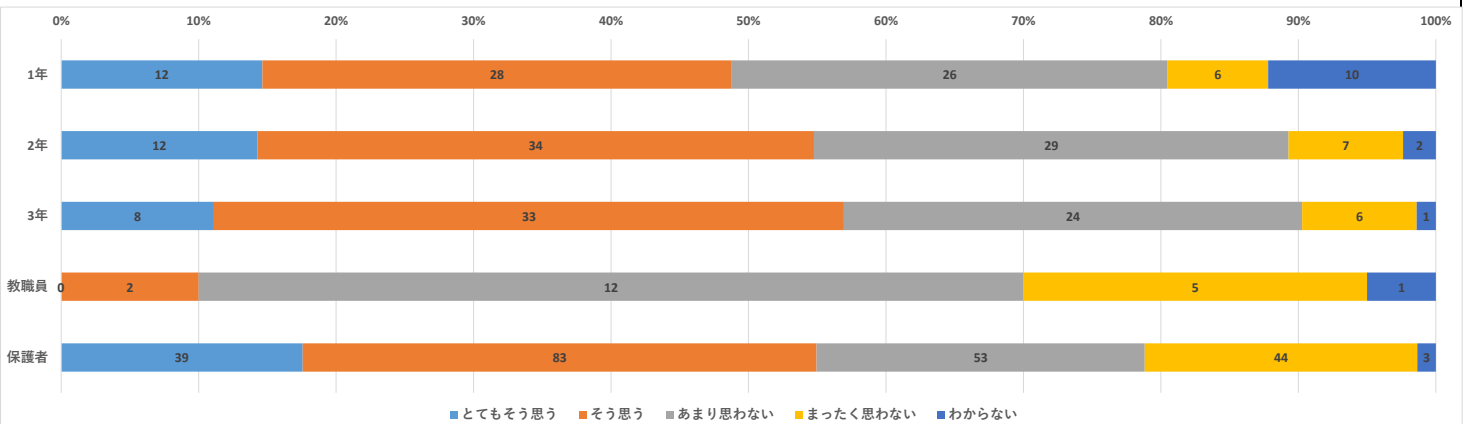
② 情報機器を上手に活用することで、自分の理解を深めたり、仲間とコミュニケーションを図ったりできている。



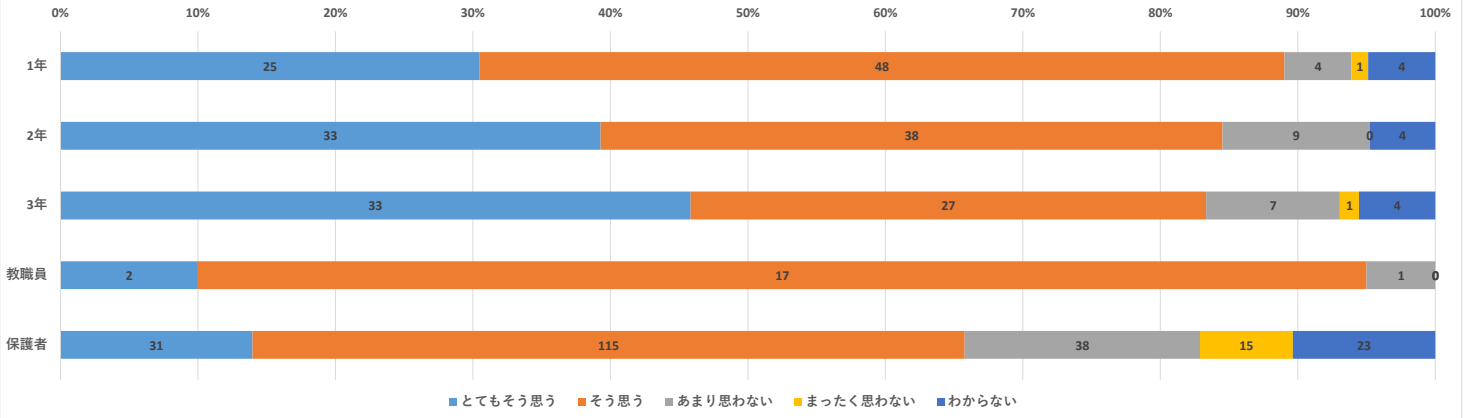
③ 学習課題に対して「知りたい・やってみたい」と思って学習に取り組んでいる。



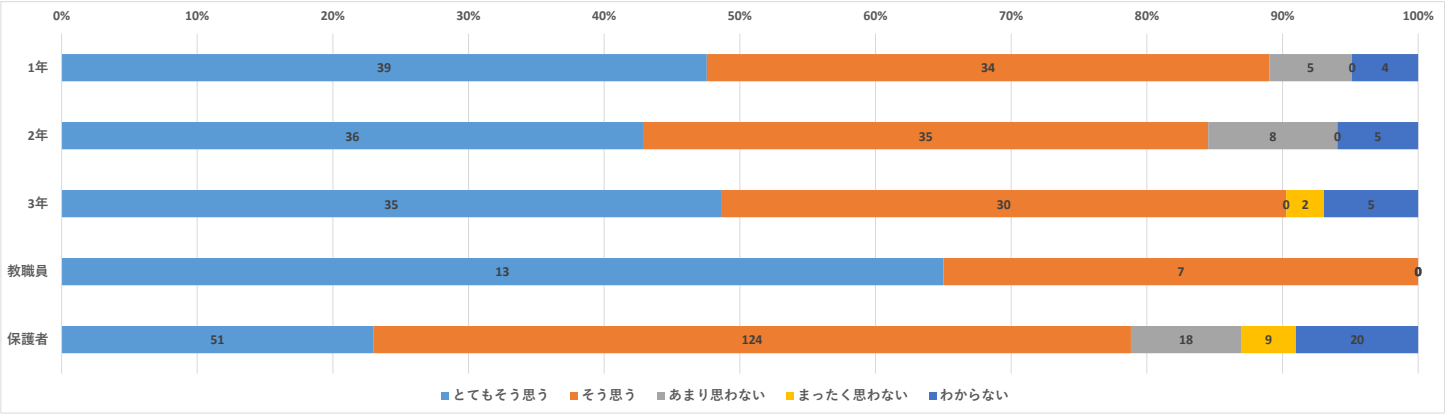
④ 自分は家庭学習習慣が身に付いている。



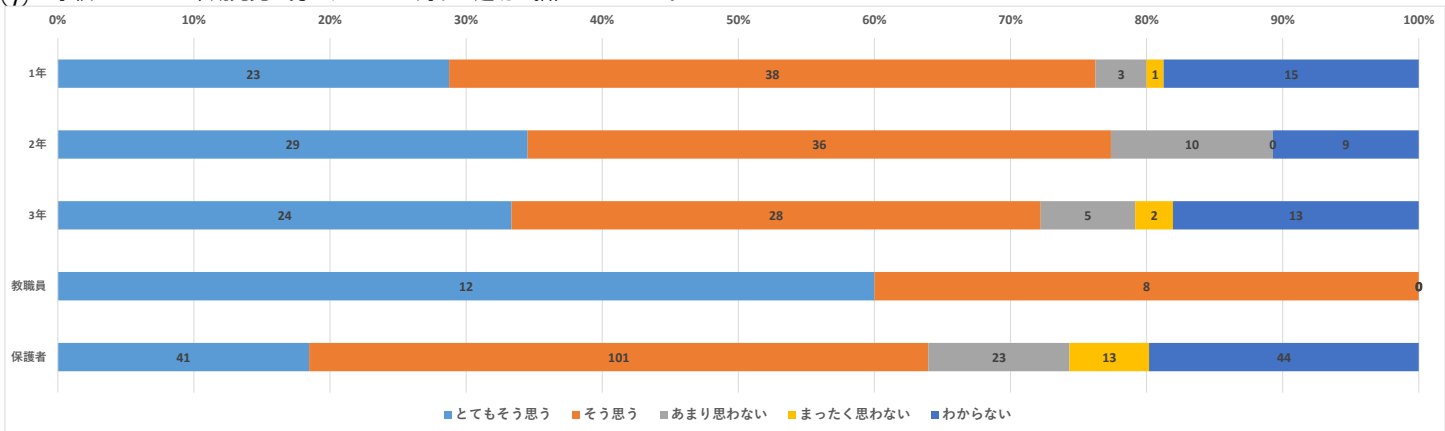
⑤　先生たちは頑張ったところや良いところを認めたりほめたりしてくれる。



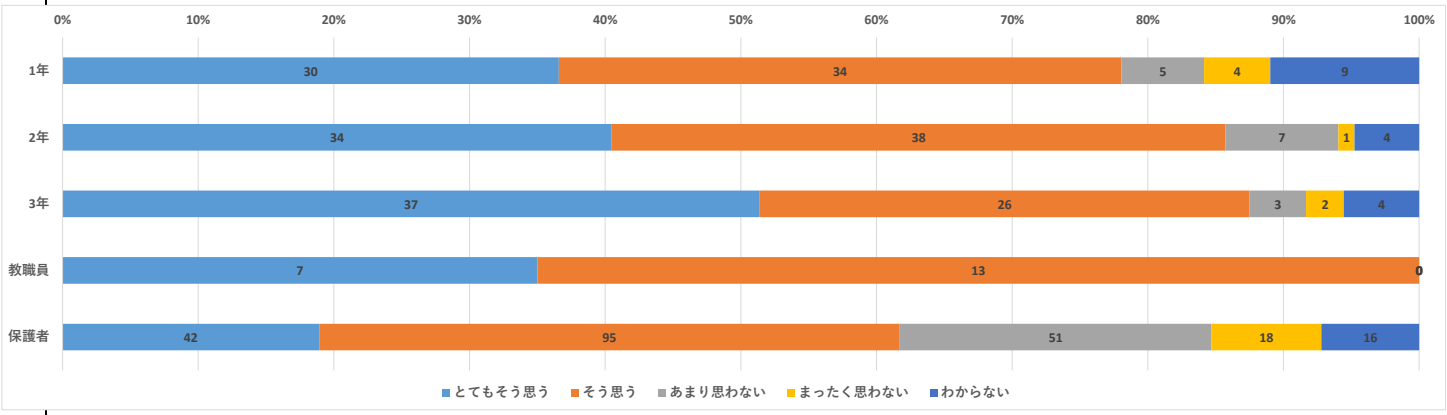
⑥　学校は、いじめ未然防止のための対策にきちんと取り組んでいる。
〇はままついじめアンケートの実施
〇教育相談の実施
〇いのちについて考える月間の実施
〇情報モラル講座の実施



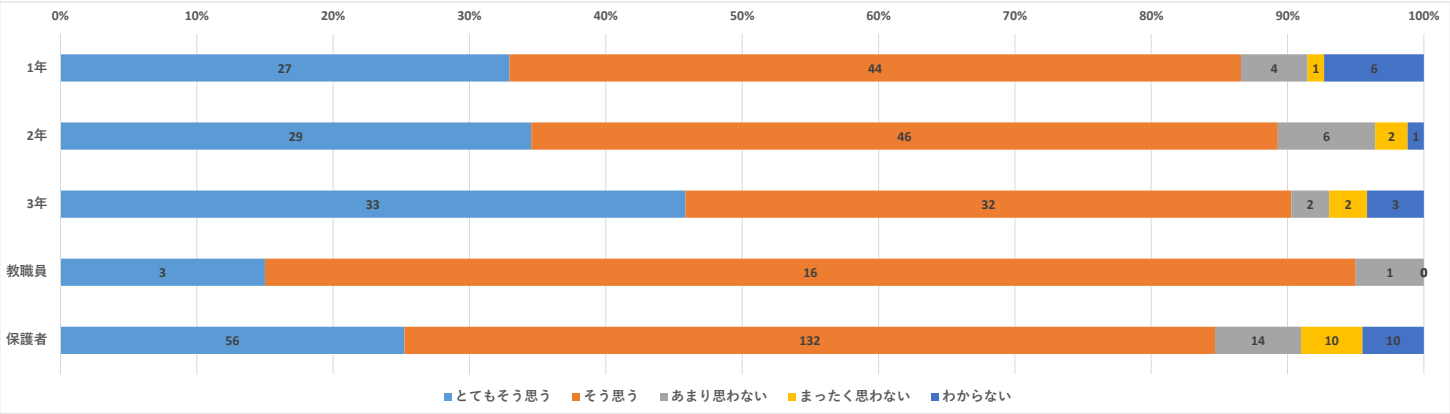
⑦　学校はいじめの早期発見に努め、いじめに対する適切な措置をしている。



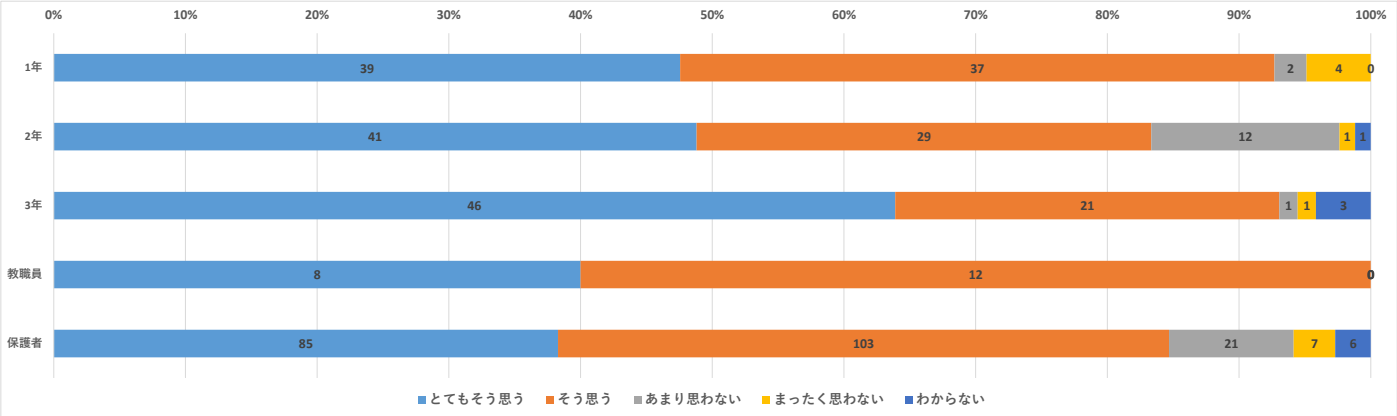
⑧　学校には相談しやすい先生や大人がいると思う。



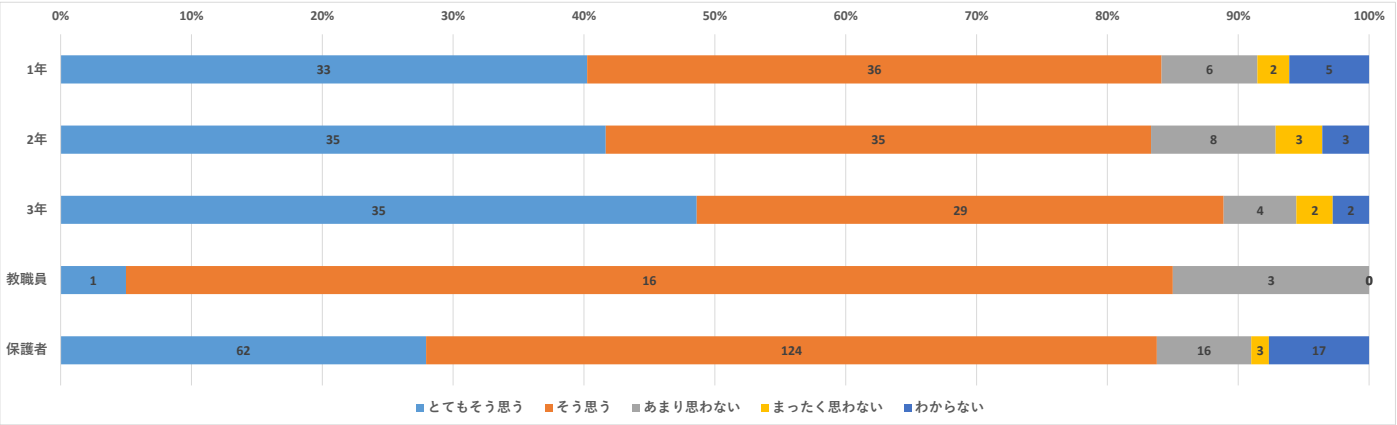
⑨　学級では自分の役割を自覚して主体的に行動し、仲間と互いのよさを生かしながら協働して活動している。



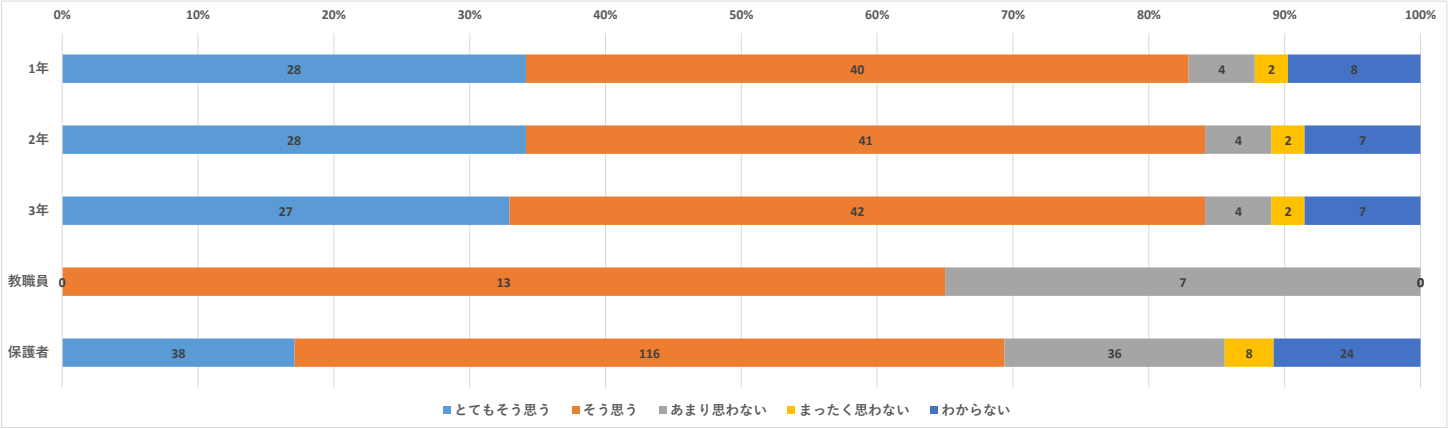
⑩　様々な活動や行事（行事・部活動・委員会活動等）に対して主体的に全力で取り組み、学級・学年で協働できた。



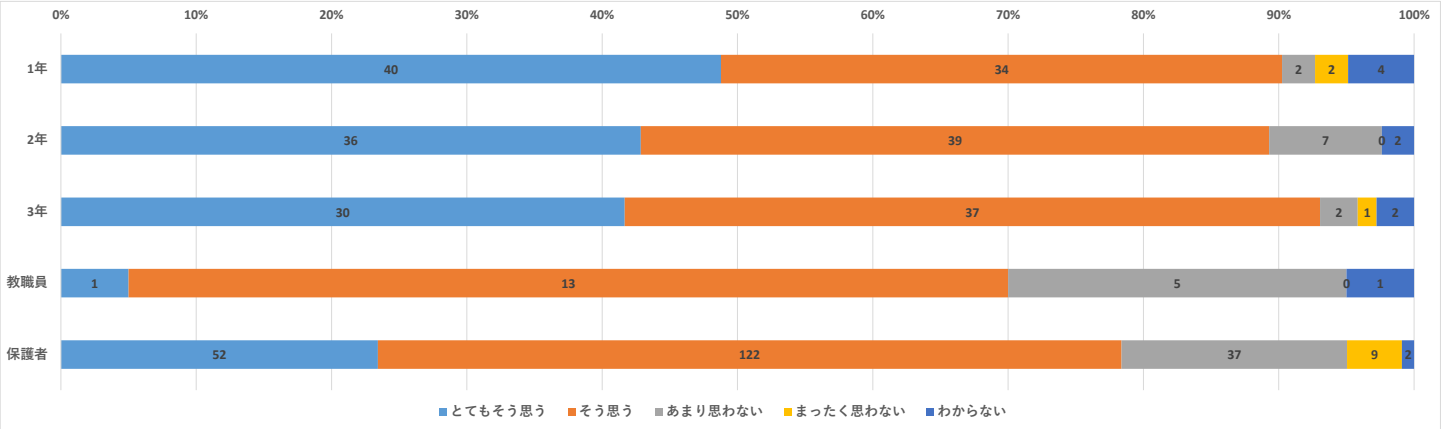
⑪　自他の命を尊重し、人との関りを大切にして、礼儀正しい言葉遣いや態度で生活がでている。



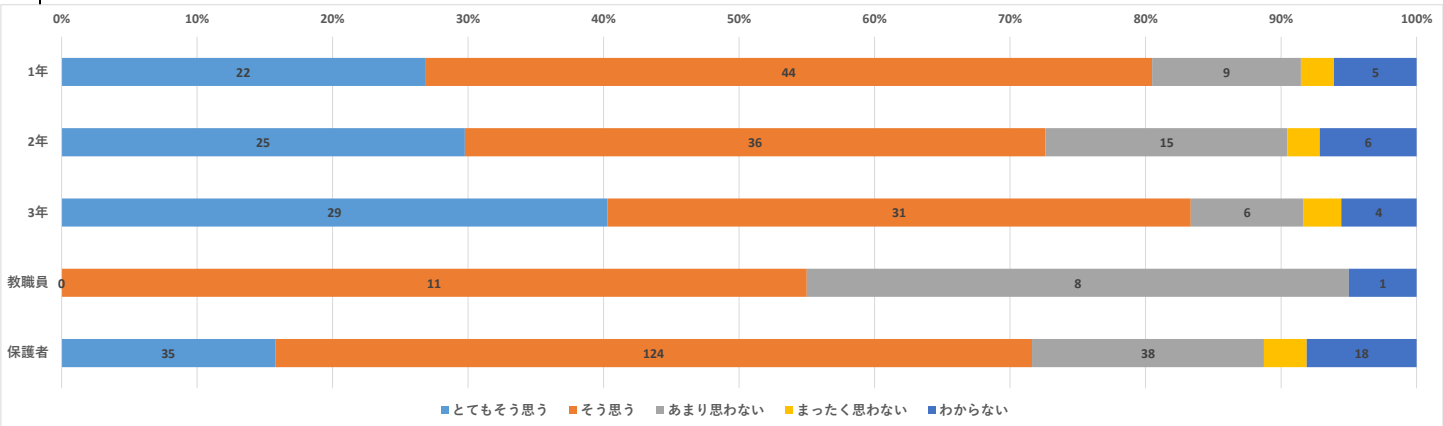
⑫　地域に根差し、ふるさとの未来や自分の将来について探究する教育活動ができている。



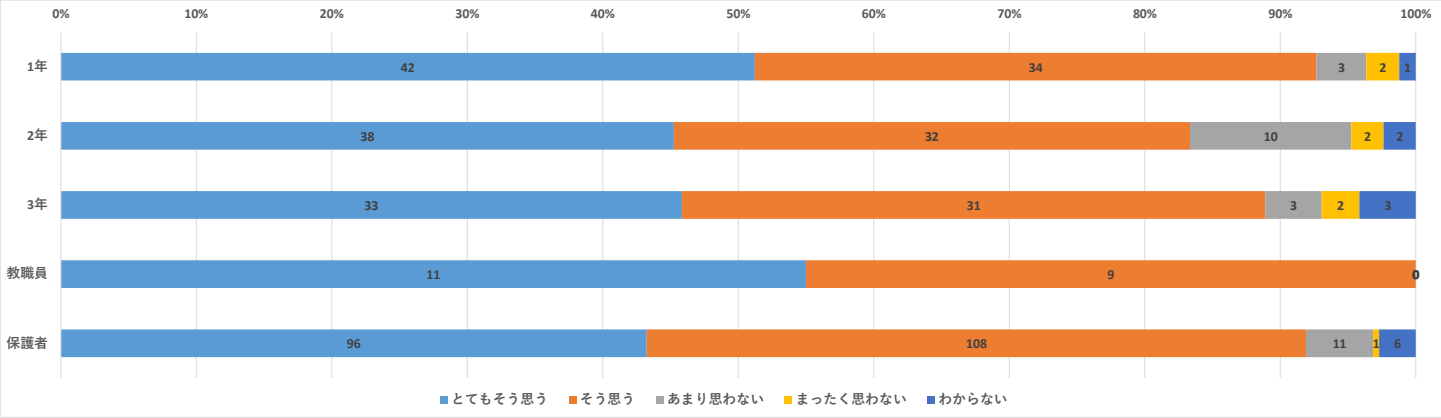
⑬　気持ちのよいあいさつができ、交通ルールや学校の決まりを守り、基本的な生活習慣が身に付いている。



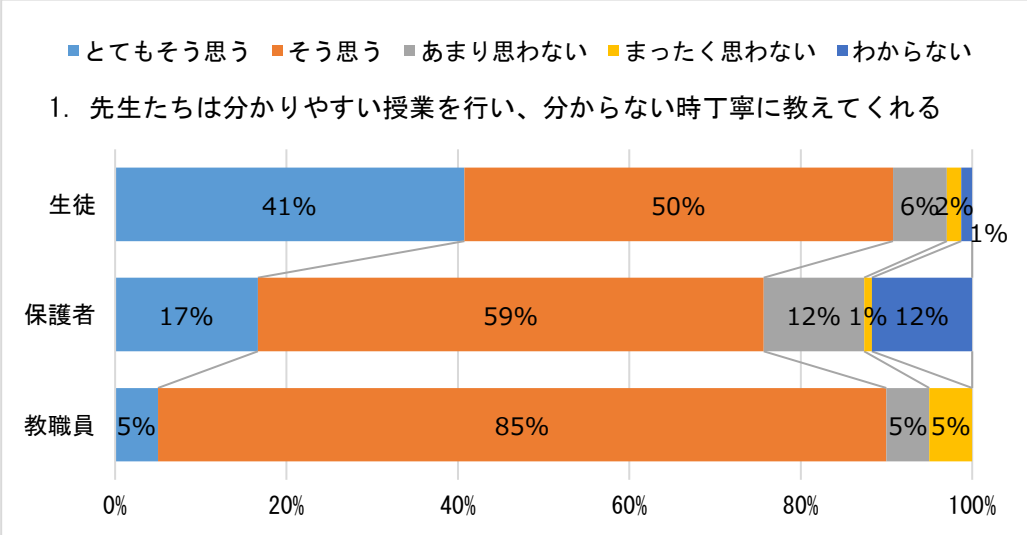
⑭　学校活動や家庭での話し合い等を通して、情報モラルに対する意識を高まった。

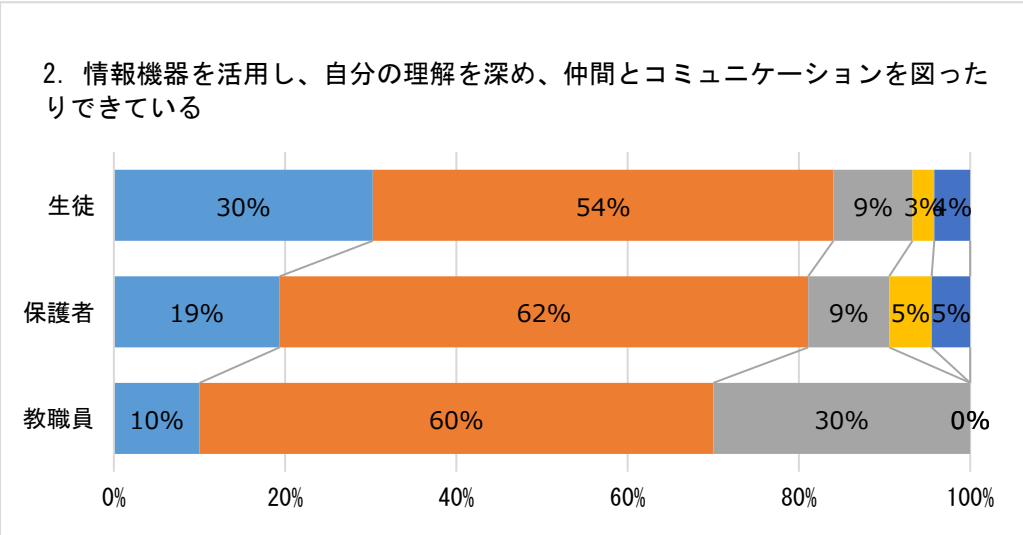


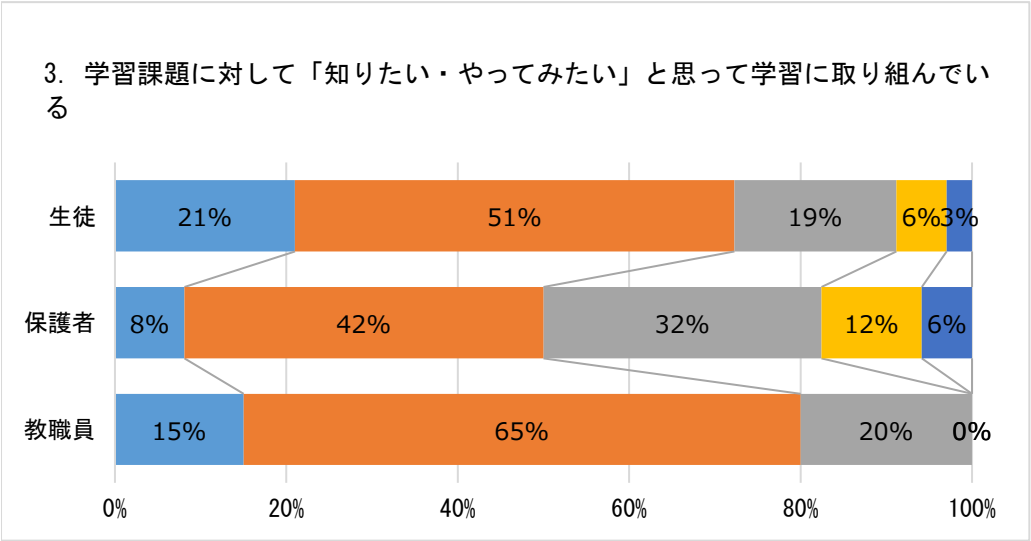
⑯　ブログ、便り、HP、さくら連絡網を通じて情報を得ることができている。

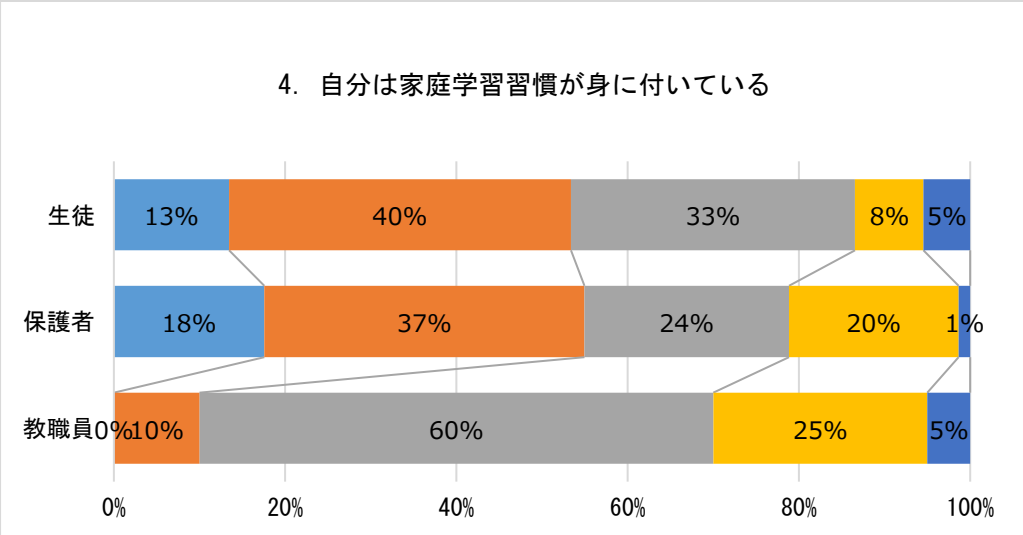


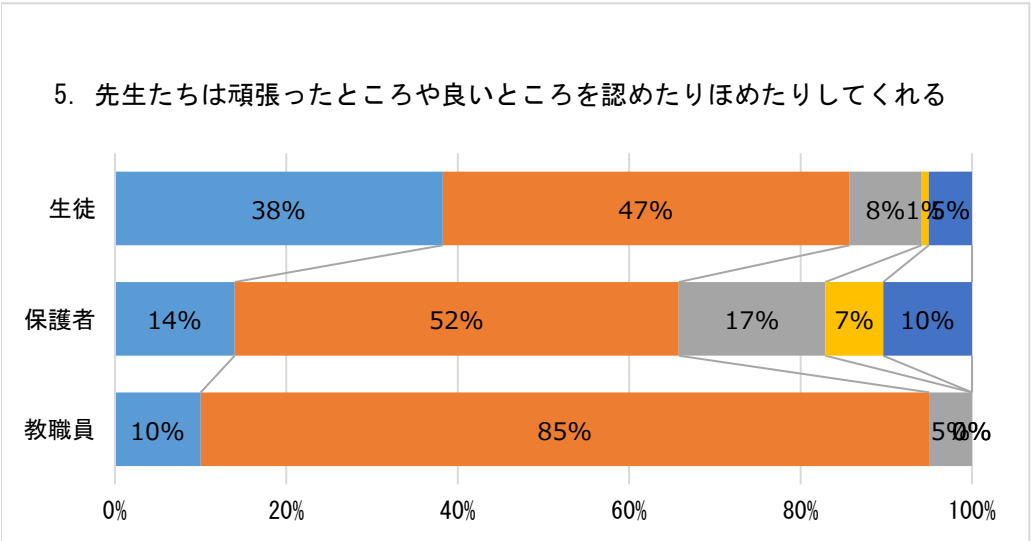
令和6年度　学校評価アンケート　集計報告（回答人数：生徒238人、保護者222人、教職員20人）

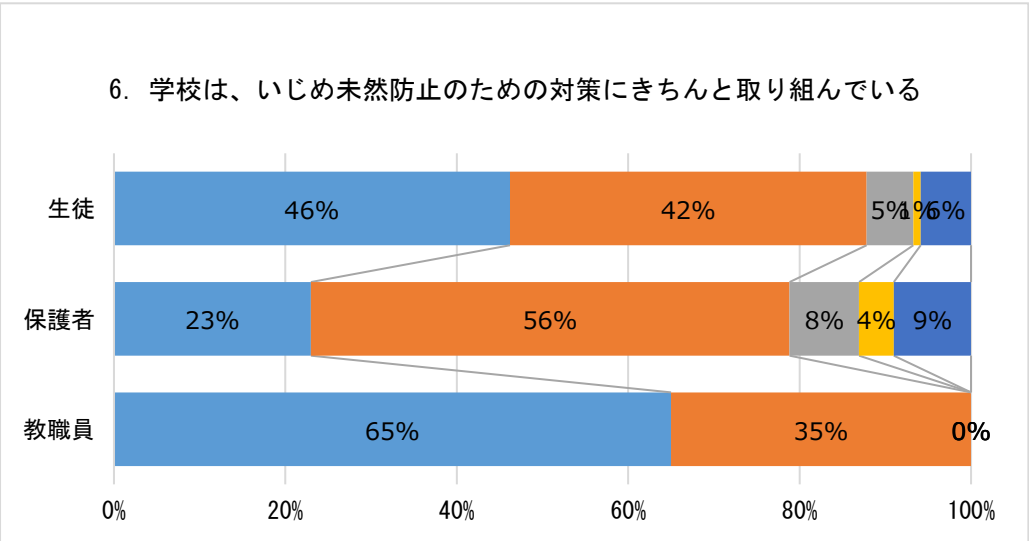


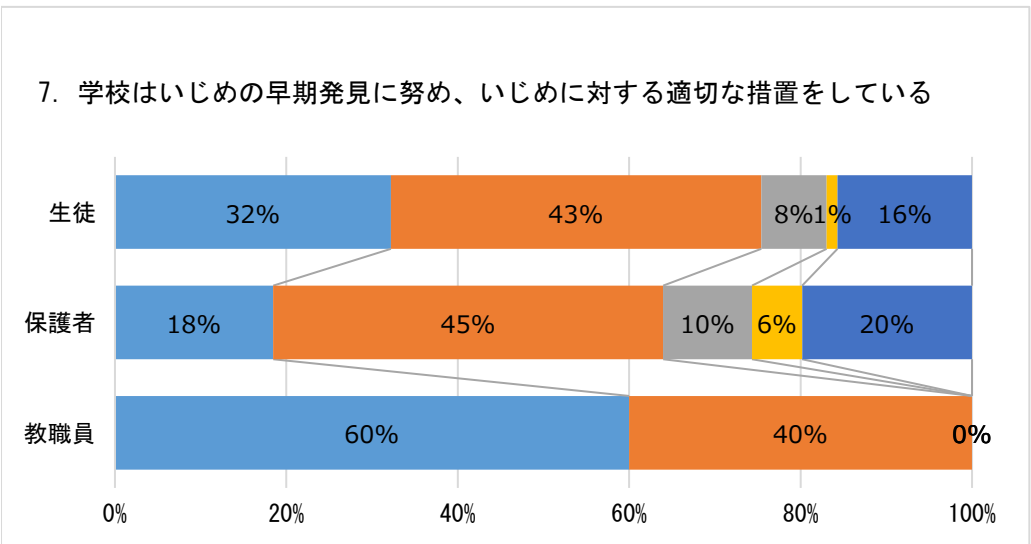


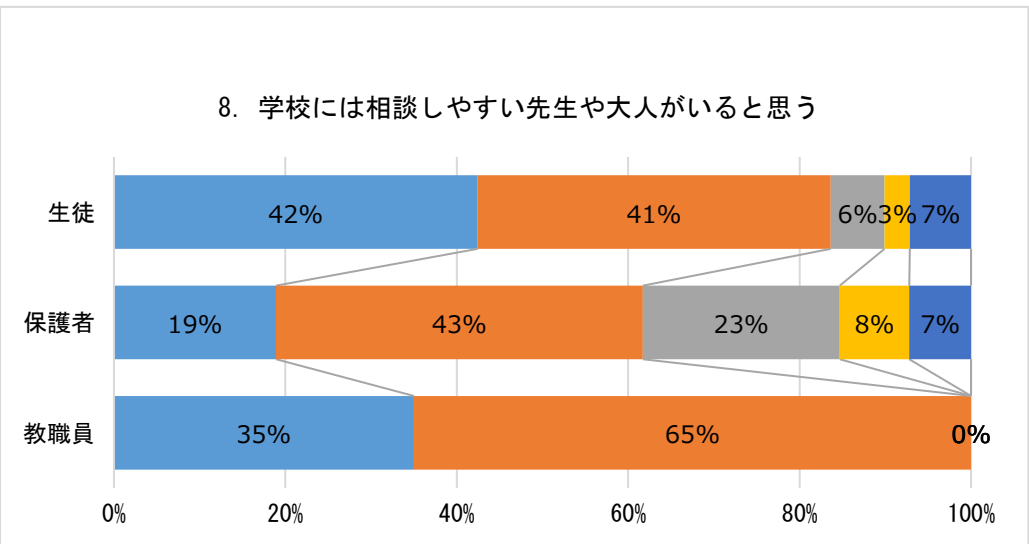


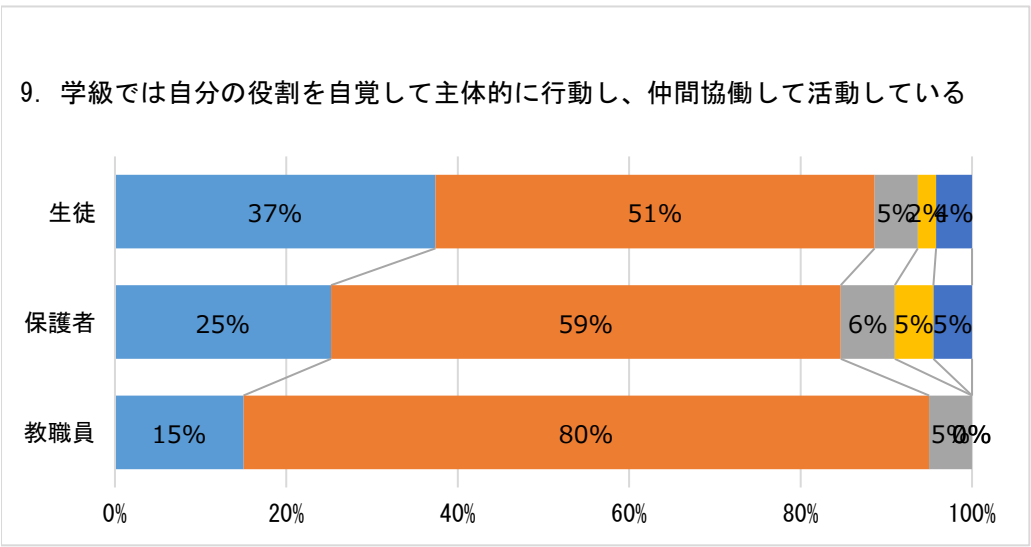


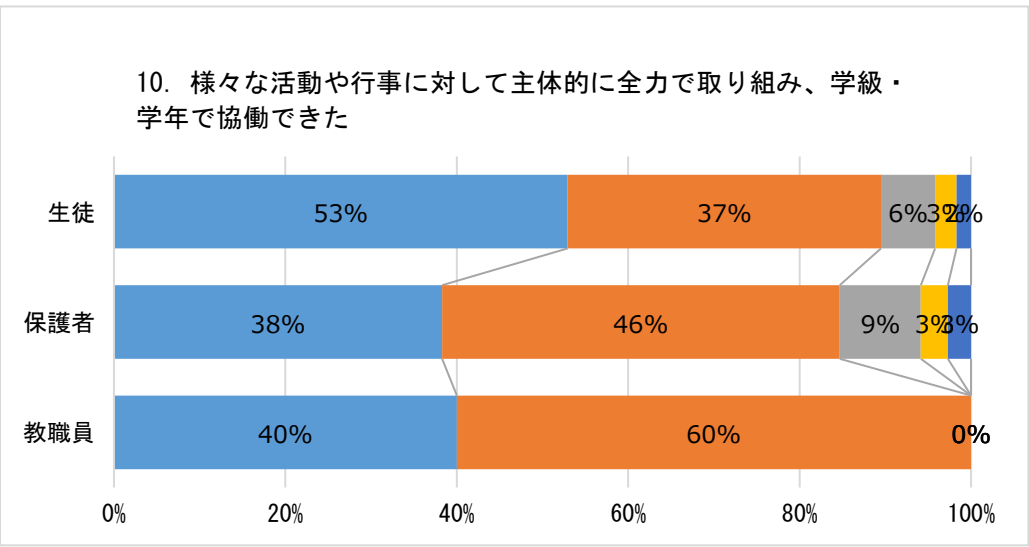




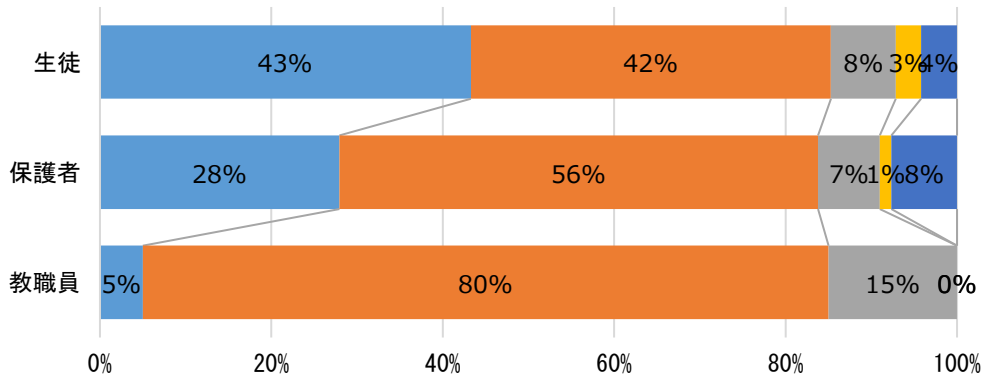




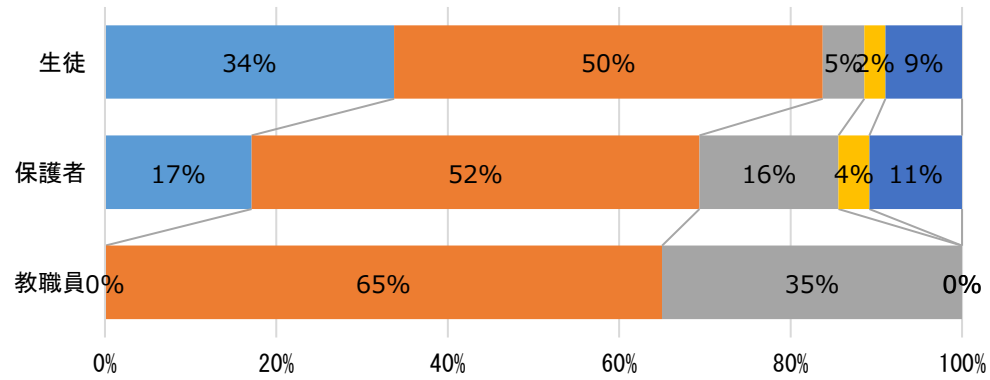




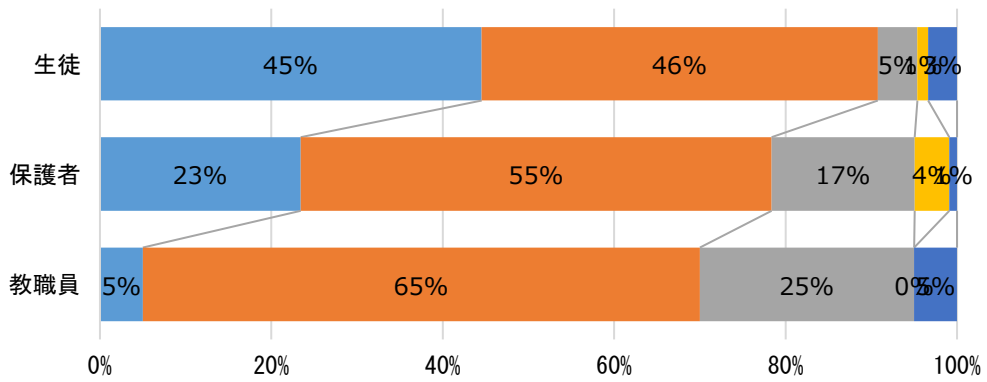
11. 自他の命を尊重し、人との関りを大切にして、礼儀正しい言葉遣いや態度で生活がでている



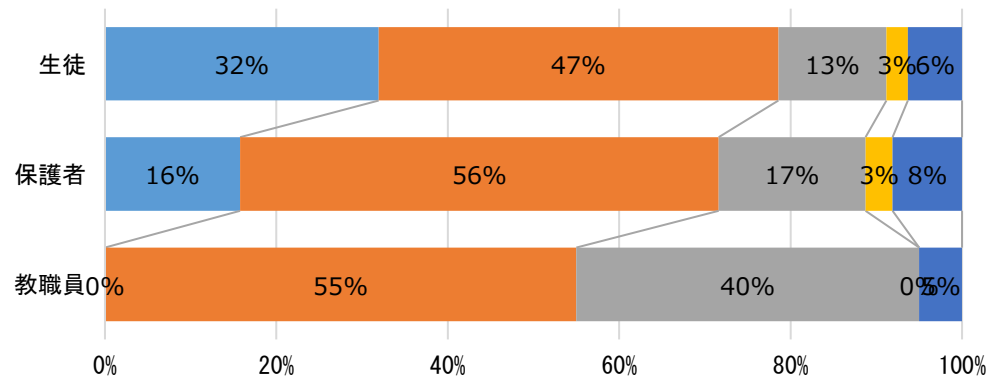
12. 地域に根差し、ふるさとの未来や自分の将来について探究する教育活動ができている



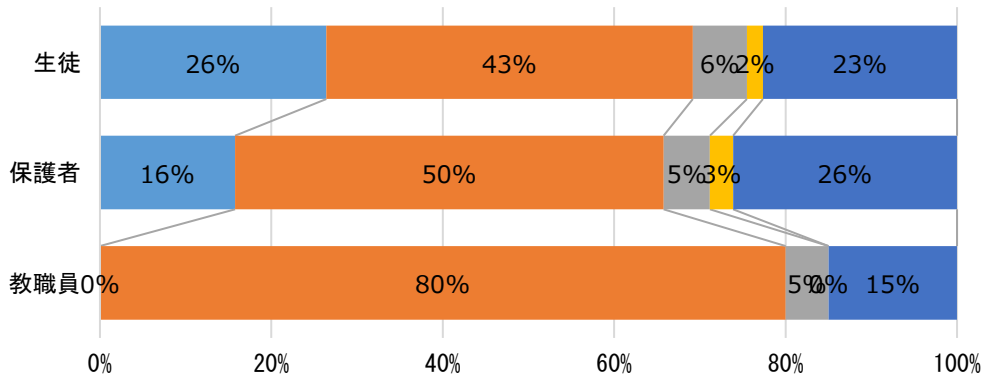
13. 交通ルールや学校の決まりを守り、あいさつや、基本的な生活習慣が身に付いている



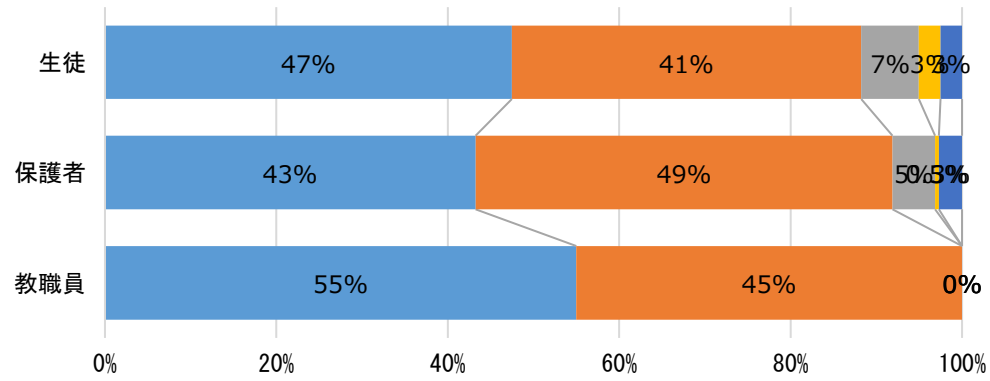
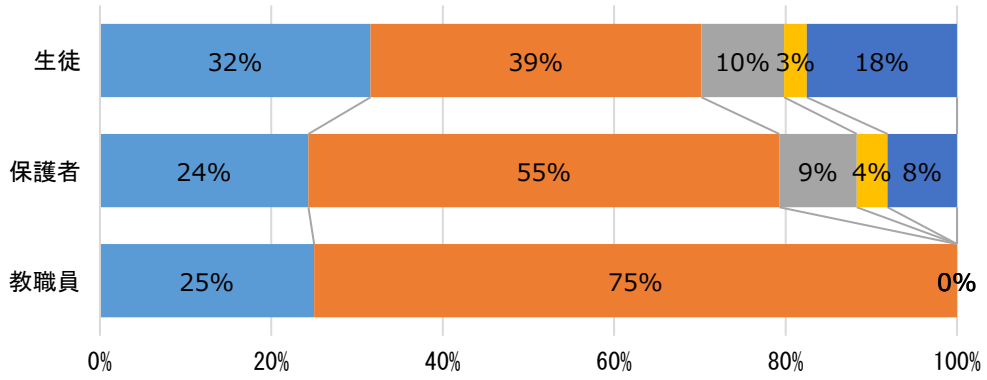
14. 学校活動や家庭での話し合い等を通して、情報モラルに対する意識を高まった



15. 思春期教室では中学生の抱える様々な悩みや、その対処法について理解を深めた



16. ブログ、便り、ＨＰ、さくら連絡網を通じて情報を得ることができている



17. 学校は関係専門機関やスクールカウンセラー等を説明、紹介している